しんとく

JA 新得町

亥

日本ではイノシシ年ですが朝鮮ではブタ年らしいです。ブー!ブー!

新年号

迎春

2019 1

No. 272

あけましておめでとうございます

本年もどうぞよろしく
お願い申し上げます

会長理事	伊藤 政光	
代表理事組合長	太田 眞弘	
専務理事	伊藤 正樹	
理事	松浦 睦	
〃	橋本 保	
〃	湯浅 恵次	
〃	藤岡 祐也	
参事兼務理事	武田 昌孝	
〃	渡辺 昭一	
代表監事	福原 智幸	
監事	須甲 徹	
員外監事	斉藤 正明	
外職員一同		

謹んで新年のお慶びを申し上げます

新得町酪農振興会	会長 片平 英幸
新得町乳牛検定組合	組合長 森田 秀矢
新得町馬事振興会	会長 長野 功
新得町肉牛振興会	会長 小里 雅毅
新得町和牛振興会	会長 千葉 典弘
新得町畑作振興会	会長 星野黒繁俊
新得町蔬菜生産振興会	会長 村田 博
新得町百合根生産組合	組合長 村田 博
新得町種子馬鈴薯生産組合	組合長 星野黒繁俊
新得町農協青年部	部長 井上 和哉
新得町農協女性部	部長 平 かよ子
フレッシュよつ葉会	会長 八木 由香

もくじ

●新年ご挨拶
新得町農業協同組合組合長　太田 眞弘
新得町農協青年部部長　井上 和哉
青年部活動
新得町農協女性部部長　平 かよ子
女性部・フレッシュよつ葉会活動
●JA NEWS FLASH
●第31回収穫感謝祭
●理事会の動き
●新年号お年玉クイズ

新年にあたり

JA新得町
代表理事組合長　太田　眞弘

新年明けましておめでとうございます。

組合員の皆様をはじめ、ご家族の皆様には健やかに平成31年の新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

又、皆様にはＪＡ事業運営に対して日頃より、ご理解とご協力を賜り厚く感謝とお礼を申し上げます。

昨年を振り返りますと春先の雪融けも早く、春作業はスムーズにスタートできました。その後、気温も高く適度に雨も降り全作物が順調に生育していましたが、６月下旬からの低温と長雨、７月・８月の大雨などで湿害を受け、小麦を始め全作物に影響が出ました。

しかし、秋に入ると定期的に台風もありましたが概ね好天に恵まれた事から、収穫作業は順調に終了する事ができました。この様な悪条件の中、小麦こそ大変残念な結果となりましたが、そば・てん菜などに至っては平年以上に良い物もあり、畑作では合計で平年並の販売高となりました。

一方畜産は、乳価も肉用価格も堅調に推移しており、前年並の販売高を予想しているところであります。

昨年９月６日胆振東部地震が発生し、全道一円が停電に見舞われ酪農を中心に大きな被害となりました。その際、被害農家に対して組合員、町内電気工事業者の方々が一体となって昼夜を問わず対応していただき最小限の被害にとどめることができました。改めて衷心より感謝すると共にいち早く見舞金という形で対応いただいたホクレンに、心から敬意を表すしだいであります。

昨年６月からの低温と長雨、９月の地震被害など厳しい年ではありましたが、平成30年度の農畜産物の販売額は史上最高の前年並と予想しているところで、常にあきらめる事なく努力いただいている組合員の皆様に心から感謝するところであります。

一方農業の貿易交渉も、ＴＰＰ11が昨年12月30日、ＥＵとのＥＰＡ交渉も２月１日発効が予想されています。政府は２０１８年度第２次農林水産関係補正予算で総額５千２７億円を計上。このうちＴＰＰとＥＵとのＥＰＡの国内対策に３千１８８億円、又国土強靭化対策として９５６億円などが予算措置されました。

私達はこれらの事業を積極的に活用して災害にも国際競争力にも強い経営を構築しなければなりません。

昨年12月の地域懇談会でＪＡの信用事業は総合事業としての継続が確認されたところであります。複数名の内部監査担当者の配置、貸出審査と融資審査の分離など体制整備をしっかりと行い、皆様から信頼される信用機関を維持して参ります。

昨年は畑作構造転換事業で種子馬鈴薯粗選別機械を導入いたしました。これにより受配する生産者への種子馬鈴薯の品質の安定と規格の均一化、労働力の軽減を期待しているところです。

又、アユミルクでは乾乳牛舎が完成し、秋口より稼働しました。これにより８台のロボット搾乳機フル稼働となり、より効率化が図られる事となりました。アユミルクは研修牧場も兼ねているところですが、現在２名の研修生が研修を行っています。昨年からは労働支援として経営課に専任職員を配置していますので、町内の労働力不足を少しでも解消できるよう取組みます。

今年は平成も終わり、新しい年が始まります。

結びにあたり、組合員とご家族の皆様の益々のご健勝と災害なく豊穣の秋を迎えられますことを心からお祈り申し上げ、新年の挨拶と致します。

次世代に繋げる

JA新得町青年部
部長　井上　和哉

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては輝かしい新年を迎えられた事を心よりお慶び申し上げます。また、昨年は当青年部活動に対しまして組合員の皆様とご家族、並びに農協役職員の方々には多大なるご支援、ご理解、ご協力を頂いております事に深く感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと春先は雪解けも早く播き付け作業やその後の生育も順調に推移しておりましたが、6月7月の低温長雨日照不足の影響により生育の遅れ、9月には台風21号が通過、翌日胆振東部地震が発生し道内全域で大規模な停電が発生、搾乳作業などへの影響そして生乳の廃棄と甚大な被害が発生しました。このような不測の事態にも対応できるような備えが必要だと改めて実感させられました。その後天候も回復し収穫作業も順調に進み概ね平年に近い出来秋を迎えられたのではないでしょうか。

ここ数年、様々な災害の影響を受けている状況の中、一方では日EU・EPAの動向や、年末に発効されたTPP11などの影響により国内の農業情勢は依然として厳しさを増しております。

このような中、我々青年部はこの厳しい状況を乗り越え、次世代へ繋いでいくためにも小学生を対象とした食育活動、農協職員の方々との交流会や役職員の方々との意見交換会、各種イベントでの「しんとくバーガー」販売による地場農畜産物PRなどの活動をおこなってきました。

食育活動の中でも学校給食における取り組み、「Sランチ」は一昨年に続き昨年も実施させていただく事が出来ました。これも、農協、役場、各種事業所、そして生産者のご協力があったからだと思っております。

「Sランチ」はしんとく産食材を豊富に使い、安心安全な地元の食材を食べてもらうという所から、新得の農業や食、そして日本の食糧に関心を持って欲しいという想いのもとプロジェクトが始まりました。

昨年の1月には山形県で開催された東北・北海道地区JA青年部大会に出場し、実績発表部門にて発表者平一真君が堂々とした素晴らしいステージを披露してくれました。結果は優秀賞と言う事で全国へは届かなかったのですが、東北地区の盟友達にも「Sランチ」の取り組みを広く知っていただけたのではないかと思っております。

また昨年12月の全道JA青年部大会においても、実績発表部門の中で他単組が我々の「Sランチ」を参考にプロジェクトを立ち上げ実践されたという事例が発表され、新得の「Sランチ」活動が広がっている事を実感しました。

こうした活動を続けていけるのも、農協や組合員、各関係機関の皆さん、そして家族の協力のおかげだと思っております。

総会勉強会

レディースファームスクール生との交流会

農作業体験

これからも我々青年部は、新得農業の担い手として、地域に根ざした活動を通じて生産者と消費者の繋がりを大切にし、「食と農業の大切さ」を多くの方々に伝え、次世代に繋げていける活動を行ってまいります。最後になりますが、本年も組合員とご家族、そして役職員の皆様のご健康とご多幸をご祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

青年部 Sランチウィーク

9月25～28日の4日間に渡りJA青年部を中心に役場、給食センター、JA、フレッシュよつ葉会が協力し「子供達に新得産のみの食材を使用した安心・安全な学校給食の提供」をテーマに取り組みました。昨年は一日に凝縮した形で全メニューを新得産にしましたが今回は昨年好評だったことを受け一日一メニューを4日間に分け渾身の一品に仕上げる事としました。

当日は青年部10名が各小学校を訪問し各クラスに赴き子供達と共に「Sランチ」を堪能しコミュニケーションを図りました。

子供たちの反応は上々でJA青年部としてはこれからもこの活動を続けていきたいと考えております。

メニュー

一日目 カレーうどん&
ハスカップチーズケーキ
二日目 牛しゃぶサラダ
三日目 クリームシチュー
四日目 牛メンチカツ&スペシャル牛乳

青年部から「Sランチ」活動にご協力頂いた生産者並びに各関係機関の皆様へ

今回この活動がこのような成果をあげられたのは新得町の生産者、並びに各関係機関皆様のご協力あってのものと感謝しております。大変お世話になりました。

次年度も本活動に際しご支援ご協力を賜る事となりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

廃プラスチック回収

11月8、9日に今年2回目の農業用廃プラスチック回収が農業センターで行われました。

当日は青年部と役場担当者が回収作業に立会い、約66トンを回収しました。

今年も回収にご協力お願い致します。

農薬空容器回収

11月19日、青年部による農薬空容器回収作業が行われました。

青年部では環境への取り組みとして、年間行事計画に組み入れ、回収作業を実施しております。

皆様のご協力の下、円滑に進められることができました、今年も皆様のご協力、お願い致します。

第43回JA十勝青年部大会

11月27日、ホテル日航ノースランド帯広にて、第43回JA十勝青年部大会が開催されました。

今大会は「紡ぐ～想いを結んで歩み出そう～」をテーマに「JA青年部活動実績発表」「動画で発信！農の魅力コンテスト」「分科会」等の内容を実施しました。

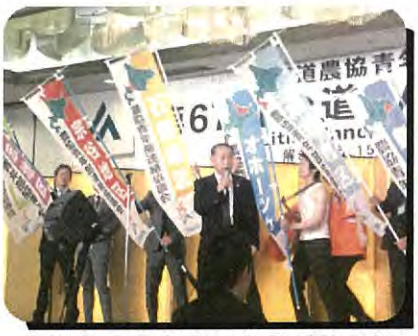
純農Boy十勝地区予選に出場した吉田幸太郎副部長。会場を笑いの渦に!!

第67回全道JA青年部大会

札幌パークホテルにて第67回全道青年部大会が12月6、7日と2日間で開催されました。

一日目は「全道JA青年の主張」「活動実績発表」等が行われました。

二日目はフリーアナウンサーの小谷あゆみ氏を講演者に迎えた基調講演、並びに各発表の表彰等が行われました。



北海道中央会飛田会長が熱唱!!
懇親会会場を沸かせた!!

前進する女性部

JA新得町女性部
部長　平かよ子

あけましておめでとうございます。

女性部員の皆様をはじめ組合員の皆様、関係機関の皆様、そして私たちをさまざまな事で支えてくれている農協職員の皆様には日頃より女性部活動にご協力、ご指導、ご支援頂き誠にありがとうございます。

昨年は春作業が順調に進んでいた所、6月からの低温、長雨に悩まされ作物の生育がとまり、追い打ちをかけるように9月の胆振東部地震の発生。その後のブラックアウトによる不安、不便さを痛感しました。又その影響による酪農被害等は言葉に出来ない過酷な経験となりました。ただ後半は天候も少し回復し無事秋の収穫期を終えこうして新年を迎える事ができました。

私達女性部は部員減少の中、どのような活動を行えば盛り上げられるのかを常に考え、新年会や持ち寄った花でフラワーボックスの設置、研修では「ひまわり荘」を見学。説明を聞きとても充実した施設と介護の内容に不安を抱えていた私は少し安心感を得る事が出来ました。12月にはよつば会との共催で皆が料理を持ち寄る「アイデアサミット」を開催し楽しい時間を過ごしました。12月12日～13日には十勝女性協研修会でステージ発表を行い、よつば会メンバーの協力もあり会場は大いに盛り上がり沢山の人たちに喜んで頂きました。

ニューカントリーの取材ではJA事務所の一部屋（通称憩いの場）がスタジオに変身。良い経験をさせて頂きました。こうした色々な活動を通じ少ない人数でも自身がつき、今後も皆で意見を出し合い楽しく充実した時間を過ごせるよう活動できるよう考えていきます。

最後に本年も皆様にとりまして、健康で希望に満ちた良い年となりますよう心よりご祈念申し上げ新年のご挨拶とさせて頂きます。

第２回生活アイデアサミット

フラワーボックス設置作業

「牧場ママ」イベント

女性部

第2回生活アイデアサミット

12月3日、JA女性部とフレッシュよつ葉会は合同で「第2回JA女性部生活アイデアサミット」を開催いたしました。本イベントは2月に行われた「料理持寄り大試食会（仮称）」から名称の応募を募り決まりました。

今回は前回より少ない参加人数となりましたが40品以上の料理や手芸品が出品展示されました。女性部とよつ葉会が合同で行う数少ないイベントの中で互いのコミュニケーションを図る絶好の場となりました。

JA十勝地区女性協議会 研修会

12月12、13日と幕別町のホテルグランヴィリオにて「平成29年度JA十勝地区女性協議会研修会」が開催されました。

JA女性組織の新3か年計画「JA女性　ふみだす勇気　学ぼう・伝えよう・地域とともに！」をテーマに開催されました。1日目は「いのちの花を咲かせましょ＝大金義昭氏」「家の光記事活用体験発表＝川口亜矢子氏」「ハーバリウム作成」の3つの研修とステージ発表を当女性部が担当！結果は・・・踊りありお笑いありで会場を大いに沸かせました。

2日目には「協同活動が果たす地域社会への役割について＝沼田光弘氏」「ヴァイオリン・ピアノによる演奏会＝和光憂人・長尾崇人」の2つの研修が行われ温かい気持ちにつつまれ幕を閉じました。

女性部　葉会

日帰り視察研修

7月26日、フレッシュよつ葉会の日帰り視察研修が行われました。

今回は鵡川町にある地球穂別体験館・博物館にて研修を行いました。本施設では地球上の様々な自然環境を巨大ジオラマや温度、湿度や音などで紹介し、ガイドの案内にしたがって天地創造の世界を体験することができます。

十勝地区フレミズ交流集会

11月29日、音更町の「サンドームおとふけ体育館」にて十勝地区フレミズ交流集会が行われました。

毎年恒例となっている本交流会の内容は仮装運動会で各単組混合チームとなり思い思いの服装で競技に参加します。

新得よつ葉会では8名が参加しそばレンジャーの仮装で盛り上げました。

役員道内研修

11月13日～14日で農協役員研修を行いました。

13日は第29回ＪＡ北海道大会に青年部、婦人部の役員と参加し、550万人と「力強い農業」「魅力ある農村を」メインテーマに開催され震災からの復旧・復興に向けた特別決議も採択されるなどすべての議案が採択されました。その後青年部、婦人部の役員さんと役員交流を行い有意義な時間となりました。

14日は北海道新聞社を訪れ、同新聞社の浜中論説委員から「ＴＰＰ11発効の影響を道新はどう見ているか」と題し、講演いただき、北海道新聞社は北海道の農業・酪農業を守る観点から一貫して反対してきたスタンスから過去の社説の解説を中心にお話されました。12月30日発効されることが確定していることから、ＴＰＰ発効後の農政や現場の「あるべき姿」がまだ示せないでいる等、意見交換を交え有意義な研修となりました。

新穀感謝祭

11月23日に新得神社にて新穀感謝祭が行われました。同祭は毎年勤労感謝の日に行われ、飯田神司のもとＪＡ役職員と関係団体が共に出席し今年の収授に感謝致しました。

地域懇談会

12月6日～7日20日にかけ新得、佐幌、上佐幌、屈足、トムラウシの5つの地区に会場を設け地域懇談会が開かれました。本懇談会では農業経営、農協事業に関する質問・意見が出され今後の対応策をＪＡ理事が説明しました。

農事組合法人 共働学舎新得農場 宮嶋望氏 黄綬褒章受章祝賀会

12月15日、本所集会室にて黄綬褒章を受章した共働学舎新得農場代表の宮嶋望さん京子さん夫妻の祝賀会を行い、町内生産者ら約50人が参加しました。

宮嶋さんは「ＪＡや役場の皆さんの様々な応援が、農業の土台づくりや可能性を広げる事につながった」と感謝の言葉を述べられました。

同農場は「農福連携」の先駆けとして活動し開設40年を迎えます。

宮嶋夫妻と、祝賀会風景

第31回収穫大感謝祭

10月20日ＪＡ事務所前で第31回収穫祭が行われました。今年の収穫祭は天候にも恵まれ開始時刻前から多くのお客様にご来場いただきました。毎年少しずつではありますが新しい物を取り入れ今年もテナント・イベントの内容を盛り沢山にし、延べ６００人のお客様にご来場いただき感謝致します。来年度以降もお客様にご満足いただけるお祭りを目指して参ります。

理事会の動き

第9回 11月26日開催

報告事項

第1 出資譲渡（受）・加入申込者について
第2 内部監査の結果について
第3 平成30年度 ＪＡ新得町収穫祭の売上について
第4 平成30年産主要農産物取扱実績について
第5 平成30年度てん菜ペーパーポット日甜補償請求について
第6 10月末畜産物取扱実績について
第7 その他

協議事項

第1号 職員の年末手当支給について
第2号 農業経営と農協事業を語る地域懇談会の開催について
第3号 理事と青年部との討論会開催について
第4号 事務所内にＷｉ－Ｆｉ施設の設置について
第5号 平成30年度産交付金大豆概算金の仮渡について
第6号 平成30年度経営所得安定対策制度数量払の仮渡について
第7号 北海道酪農体質強化対策費の支払いについて
第8号 平成30年度海外農業視察研修の実施についていて
第9号 その他

第10回 12月25日開催

報告事項

第1 出資譲渡（受）加入申込者について
第2 内部監査の結果について
第3 平成30年度 第3・四半期主要勘定及び損益対比について
第4 余裕金運用状況について
第5 平成30年産 主要農産物取扱実績について
第6 平成30年度共計取扱各農産物精算結果について
第7 11月末畜産物取扱実績について
第8 平成30年度㈱新得営農サポート事業実績について
第9 その他

協議事項

第1号 平成30年度第3・四半期自己監査について
第2号 農業経営と農協事業を語る地域懇談会意見集約について
第3号 役員改選に伴う役員推進委員の選出について
第4号 信用事業の方向性について
第5号 理事と青年部との討論会について
第6号 その他

平成三十年度資格取得者

内部監査士資格

北西 孝 課長
松浦 妙子 係長
佐藤 大介 職員

北海道農業協同組合 職員資格

初級 逢坂 佳祐 職員

毒劇物取扱者一般

中山 美那子 職員

JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。
JA北海道大会決議事項の実践やその時々のトピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。
各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

JA北海道中央会

次世代の大規模農業経営者の育成を目的とした「北海道アグリフードプロジェクト・アカデミー（農業経営塾）」の第3回講座が、受講生10名の参加のもと、11月29日・30日の両日、札幌市内で開講されました。
今回は「人づくり・組織づくり」をテーマに組織開発、労務管理の基礎知識を専門家から学ぶとともに先進事例の紹介もあり、研修のまとめとして、受講生各自が「夢の農業経営を実現するための「働き方改革実行宣言」を行いました。

JA北海道信連

11月に農業経営者支援の一環として、今年で8回目となる「農業経営フォーラム」を札幌で開催しました。当日は、(有)トップリバーの嶋﨑代表取締役に「トップリバー流の人材育成」を、志ネットワークの上甲代表に「いま経営者に求められるもの～松下幸之助の人づくり～」をテーマに講演頂きました。参加者からは、「人材育成の重要性を理解できた」、「人としてあるべき姿を教わった」など好評を頂きました。

ホクレン

全道のホクレンSSで展開した「2018ラブ&ハートチャリティキャンペーン」に寄せられた募金と、売り上げの一部を合算した総額300万円を、北海道社会福祉協議会へ寄託しました。当キャンペーンは、ホクレンの社会貢献活動「HOKURENSEED SPROJECT」の一環として実施しており、道内の児童保育施設約810箇所に絵本などの購入費用として使用いただく事となっております。

JA共済連北海道

12月24日(月)から1月20日(日)まで、さっぽろ地下歩行空間に、「アンパンマン×こども共済」の巨大壁面広告（全長14．5m）を掲出します（写真はイメージです）。
一般のママ達が選ぶ「マザーズセレクション大賞」を受賞した「こども共済」を年末・年始にかけ全道から札幌へ訪れる方々へPRいたします。札幌にお越しの際は、ぜひ地下歩行空間でご覧下さい！

JA北海道厚生連

組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。
年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。
ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非ご一読ください。

JA しんとく

『十勝地域組合員総合支援システム』

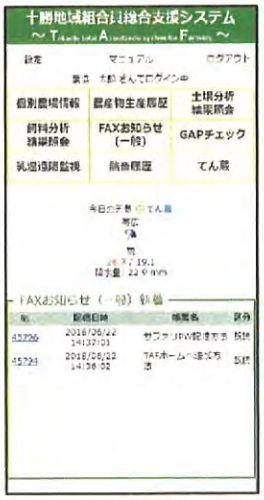
《TAFシステム》

パソコンやスマホで組勘の残高確認や
各種報告、生産性向上のための
営農情報確認をしてみませんか？

※今までJAに報告した内容を改めて入力や登録する必要はありません。
※本システム利用料は無料です。

画面イメージ

パソコン画面

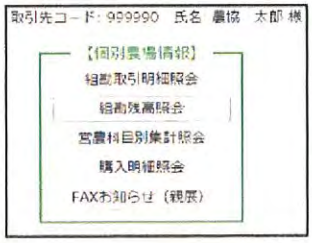


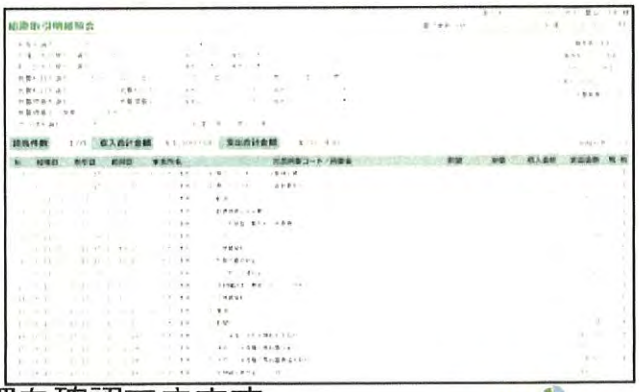
スマホ画面

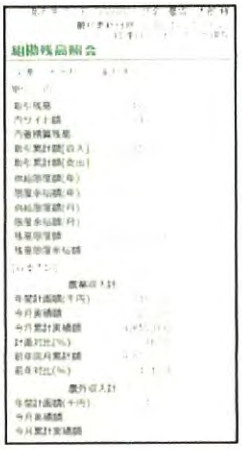
個別農場情報　：組勘残高や取引明細を確認できます
農産物生産履歴　：生産履歴の記帳や提出、農薬情報の検索ができます
土壌・飼料分析結果照会：土壌・飼料分析結果をPDFで確認できます
ＦＡＸお知らせ(一般)　：JAからのFAX文書をPDFで確認できます
ＧＡＰチェック　：GAPチェックリストの管理や記入ができます
乳温遠隔監視　：乳温情報やエラーの確認ができます
酪畜履歴　：出生等の報告、繁殖管理情報等の確認ができます
てん蔵　：気象情報を確認できます

問い合せ先　ＪＡ新得町総務部管理課　64-5021

個別農場情報

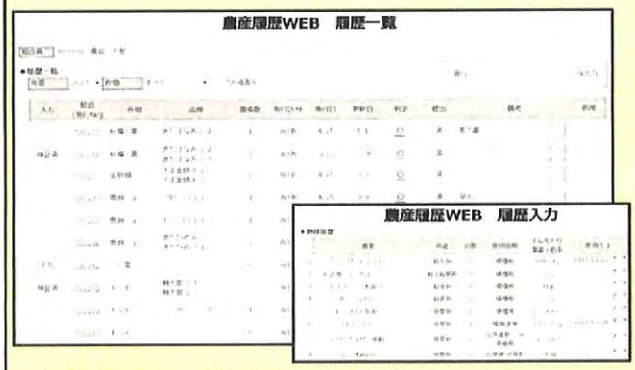






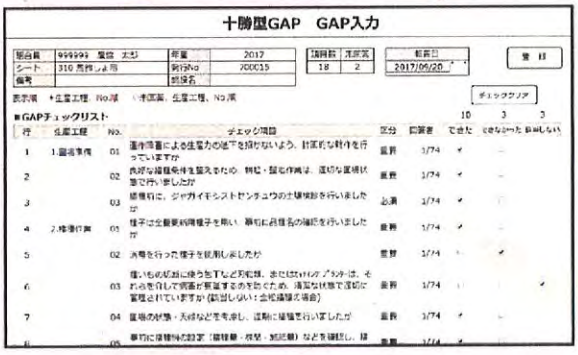
組勘残高や取引明細を確認できます。
パソコンではCSV形式で出力することもできます。

農産物生産履歴



生産履歴の記帳から提出まで行うことができます。

GAPチェック



従来用紙だったGAPチェックリストをWeb上で管理・記入できます。

酪畜履歴

授精や出生等の各種報告や個体情報、
繁殖管理情報等を確認できます。
個体異動報告（出生・導入・売廃・死亡・耳標発注）
は国及びNOSAIにも報告されます。

農家組合員の皆様へ

今、流行の農作業で負担のかかる腰・身体的負担を軽減するアシストスーツ（モリタ製「ラクニエ」）が、この度、ＪＡ共済から装着体験用としてＪＡに提供されました。
ぜひ、この機会に一度、ＪＡで装着体験してみませんか？

※男性だけでなく、女性の方も装着体験出来るようにXS・S・M・Lの４サイズをご用意してお待ちしています。

農業のために 地域のために 明日のために
JA共済の地域貢献活動

腰が楽、動作も楽。
いつものツラい前屈作業が変わる。

毎日の農作業を「さりげなくサポートする」ことで、
疲労の蓄積を減らし、疲労からの回復を早めます。

ラクニエが腰を守るしくみ

前屈時のみサポート力を発生

ラクニエは、前屈時の背中の伸びで発生する弾性生地の張力で腰を支える筋肉の負担を軽減します。腰を曲げない時や体をひねる時などはサポート力を発生しないため、過剰なサポートによる筋力の低下を防ぎます。

確かなサポート効果

「楽」につながる2つの筋肉をサポート

前屈姿勢を支える、脊柱起立筋と大腿二頭筋の負担がともに平均17%軽減することを確認しました。これらの2つの筋肉がサポートされることで、前屈作業が楽になります。

ラクニエ 6つのポイント

point 1 驚きの軽さ

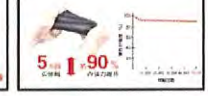
機能性に特化し、極限まで素材を削ぎ落すことで、驚きの軽さを実現！
(リンゴ1個分の重さ)

point 2 着脱カンタン

一度自分にぴったりに調整すれば、30秒程度でカンタンに装着可能。

point 3 落ちないサポート力

サポート力を生み出す特殊な弾性生地は5万回の伸縮を繰り返しても約90%の張力を維持。



point 4 サポート力解除機能付き

車の運転時や休憩時には、お尻のバックルを外すだけで、カンタンにサポート力を解除。

point 5 様々な職種服装に対応

職種・作業に応じて、ユニフォームの外にも中にも着用が可能。

point 6 手洗いOK

お洗濯が可能なのでいつも清潔。速乾性にも優れているので、毎日のお手入れもラクラク。

ラクニエ ユーザーの声

いちごファクトリー / 松本 様

疲労感が少なくなり丁寧な仕事が持続できます

ラクニエを使用してからは、植付け作業での疲労感が少なくなり、長い前屈姿勢でも 丁寧でいい仕事ができるようになりました。

(有) 中西ハウスセンター / 中西 様

前屈姿勢から立ち上がる繰り返しが楽になりました

店舗での品出しや陳列は、屈んだり、立ったりを繰り返すのでつらい作業です。ラクニエを使い始めてからはかなり楽になりました。

(有) 長井米生活農場 / 長井 様

アシストされるので作業が軽く、楽に感じます

ラクニエを使用してからは、お米の袋や苗を運ぶ時の腰への負担が少なくなり、体が軽く感じるようになりました。

お問い合わせは、**当JAの資材部門**もしくは
営農部門までお気軽にご連絡ください。

自然災害に備える

住宅や家財の保障にはJAの

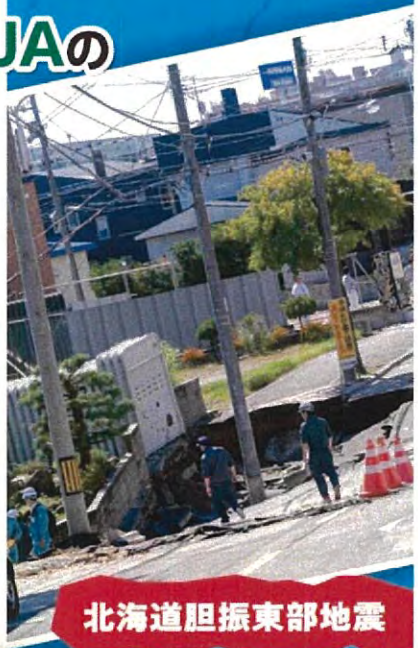
建物更生共済

むてきプラス

地震・台風などの自然災害・火災等に

確かな保障で確かな備えを

平成30年 台風21号



北海道胆振東部地震

平成28年 台風

がんばろう北海道

JA共済

※この資料は概要を説明したものです。詳細につきましては「重要事項説明書（契約概要・注意喚起情報）」および「ご契約のしおり・約款」により必ずご確認ください。

【18013626037】

手軽に健康　手指体操

散歩をしながら脳トレ

健康生活研究所所長●堤　喜久雄

散歩を楽しみながら、指先を動かして頭脳トレーニングも取り入れてみませんか。

手の動きに意識を向ける手指体操だけでも脳に刺激が入りますが、歩く動作を加えることで脳トレ効果がアップします。また、漫然と歩くより歩調もリズミカルになることで全身運動になり、血行も促進されます。特に寒い時期はお勧めです。

腕を前後に振る動きに合わせて手指を動かします。リュックを背負うなど両手が空いているのが理想的ですが、片手が空いていればできる体操です。最初はグーパーの動きをし、慣れてきたら指を順番に曲げていきます。

発声は小さい声でもいいので、舌と口を正確に動かしましょう。慣れてきたら曲げる指の順番を変えたり、指を曲げた後に広げる動きを加えたりと自分なりに変化をつけるとバリエーションは広がります。思い付くままにいろいろとトライすることで、脳の若さを保ちましょう。

ステップ1

(1)手を前後に振る際、前に出る手をパーにします。

(2)後ろに来る手はグーにします。

ステップ2

(3)手を前から後ろに出して一振りと数え、1から5まで声に出して数えます。前に出したときに「1」と数えて親指を曲げ、「2」で人さし指を曲げます。小指まで曲げて「5」です。

(4)リズミカルにできるようになったら、今度は同様の掛け声で小指から順番に曲げていきます。

トラブル回避の基礎知識

特殊詐欺にご注意！

国民生活センター相談情報部●江上光美

特殊詐欺被害に関する相談が寄せられています。

【事例】金融庁の職員を名乗る男性から突然電話があり、「銀行に口座があるか」と聞かれた。「二つある」と答えると、「詐欺グループがあなたの口座から200万円を不正に引き出した。この事件はすでに20件発生している。あなたで21件目だ。今調べている最中で、警察に届けるなど騒がなければお金は返金されるので、内密にしてほしい。被害を確認するため、担当職員がそちらに向かうので、キャッシュカードを渡してほしい。暗証番号は秘密なので出向いた職員に教えてほしい」と言われ、その後訪問した担当職員にキャッシュカードを渡し、暗証番号を教えた。しかしよく考えるとおかしいので、警察に通報したが、今後どうすればいいか（80代女性・無職）。

特殊詐欺とは、面識のない不特定の者に対し、電話その他の通信手段を用いて、預貯金口座への振り込み、その他の方法により、現金などをだまし取る詐欺をいいます。特殊詐欺はさらに「振り込め詐欺」と「振り込め詐欺以外の特殊詐欺」に分類されており、事例のケースは、「振り込め詐欺」のうちの「オレオレ詐欺」に該当します。

最近増加している「オレオレ詐欺」の手口は、金融庁の職員や警察官などをかたって高齢者宅に電話をかけ、その後自宅を訪問して暗証番号を聞いた上で、キャッシュカードなどをだまし取るものです。

金融機関で預貯金を引き出して詐欺グループに振り込もうとする高齢者に銀行員などが声を掛け、被害を食い止めるケースが増えたため、詐欺グループが自ら詐取したキャッシュカードで現金を引き出す手口に変更したと考えられます。

いったん引き出されてしまった現金を取り戻すことは困難です。金融庁の職員や警察官などが自宅を訪ねてきてキャッシュカードを預かり、暗証番号を聞くことは絶対にありません。不審に思ったら安易に応じずに、すぐに警察や消費生活センターに相談しましょう。

■発行／新得町農業協同組合■発行日／平成31年1月
■編集／管理課農政企画係
■TEL／(0156)64-5021

変わるJA 広がる地域のきずな

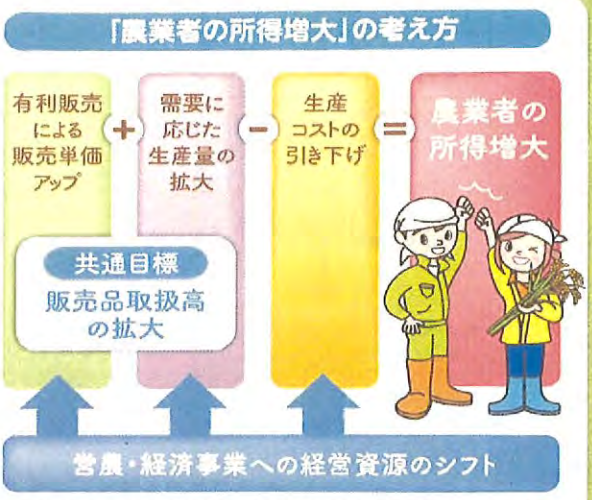
監修＝広島大学
助教 小林元

Q. JAの自己改革で農家は元気になるの？

A. 現場のニーズに応え、農家の所得増大と生産の拡大を支えます。

JAグループは、自己改革で「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つの基本目標を掲げています。「農業者の所得増大」は、①有利販売による単価アップ②需要に応じた生産量の拡大③生産コストの引き下げ――によって達成します。「農業生産の拡大」に向けては、農業生産基盤の維持・拡大のため、次世代の担い手の育成を進めます。また、「販売品取扱高の拡大」を共通目標とし、組合員と課題を共有し、知恵を出し合いながら取り組んでいきます。

JAグループは、JAグループがめざす姿として、「消費者の信頼にこたえ、安全で安心な国産農畜産物を持続的・安定的に供給できる地域農業を支え、農業者の所得増大を支える姿」を掲げています。地域農業や国産農畜産物への消費者の理解を広げ、農業の応援団を増やすための活動も行っています。地域の皆さんの協同の力で、地域農業とその主人公である農家が元気になるための取り組みを、自己改革を通じてより一層進めていきましょう。



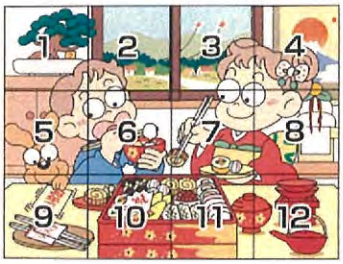
注）共通目標として掲げる「販売品取扱高の拡大」は、有利販売による販売単価のアップと生産拡大を反映した「農畜産物等の販売収入」に加えて、政策活用や6次産業化等による利用・加工事業を含めたものとします。

耕そう、大地と地域のみらい。

新年号お年玉クイズ

まちがいさがし

右のイラストには左のイラストと違う部分が５カ所あります。
間違っている部分を左下の枠内の数字で探しましょう。



『応募方法』

折込申込用紙にクイズの答え、住所、氏名、イラスト等をお書きの上、期日までにＦＡＸまたは管理課まで提出して下さい。
正解者の中から抽選で10名の方にエーコープ商品券を差し上げます。

応募締め切り
２月８日（金）必着